

# 宮津市定例記者会見

令和2年10月23日(金) 午後2時00分～  
宮津市役所応接室

## 【内 容】

1. 市公式LINE開始
2. 細川ゆかりの地 モデルツアー
3. 光のアトリエ
4. 大塚製薬株式会社との包括連携協定
5. 第47回宮津市民文化祭
6. 第50回宮津市民駅伝競走大会
7. 細川ゆかりの地WEEK（再）

次回予定 11/26（木） 14：00～ 応接室

令和2年10月23日

新規

## 宮津市公式 LINE をはじめます

スマートフォン普及率・SNS 利用率の上昇に伴い、情報収集目的での電子メール利用が少なくなっている昨今の情勢に鑑み、当市でも LINE を利用した情報発信を開始します。

今後は、気象警報など防災・防犯情報やイベント告知などを LINE で行うことで、市民に見てもらいやすい広報の実現を目指します。

### 開始日

令和2年11月1日から

※子育て応援情報は、別アカウント「すくすく子育てLINE」で配信しています。

### 配信情報

災害等の防災・防犯情報、イベント告知、その他緊急性の高い情報（例：COVID-19 関連情報など）

### みやづ情報メールの取り扱いについて

LINE が使えない高齢者・障害者等の方々のために、引き続き利用します。

一方で LINE と重複した発信や、少数の利用者にしか有用性がない情報の発信については今後見直しを行い、真に必要な情報を届けられるように仕組みを見直します。

### その他

5月実施の市民アンケートにおける LINE の使用率は 82.7%

お問い合わせ先

企画財政部 / 企画課 / 魅力発信係

TEL : 0772-45-1609

宮津市



# すくすく子育て

子育て「**応援情報**」をお届けします 

LINE の「**友だち追加**」で

いずれかの方法で**登録**をお願いします!

QRコードの読み込み



IDで検索



@371nsenk

お問い合わせ

宮津市健康福祉部 社会福祉課

子育て支援係

電話 0772-45-1621

kosodate@city.miyazu.kyoto.jp



新規

## 細川ゆかりの地 モデルツアーを催行します！

明智光秀の娘・細川ガラシャの愛した街である宮津・天橋立のゆかりの地としての魅力をPR及びガイド付きのコースを旅行商品として造成することを目的としてモデルツアーを実施します。

### 内容

#### (1) 忠興・光秀コース

→盛林寺+八幡山コース（バス+徒歩）

（集合は細川ガラシャ夫人像前、バス発着）

日時：令和2年11月11日（水）9時30分～13時00分（応募〆切：11/4（水））

ガイド：宮津観光アテンダントまちなか案内人の会、教育委員会

その他：昼食会場は八幡山

#### (2) ガラシャ・光秀コース

→講座でまわった天橋立メイン（徒歩）

智恩寺境内→廻旋橋→天橋立（九世戸）→天橋立神社（集合は智恩寺山門前）

日時：令和2年11月19日（木）9時30分～13時00分（応募〆切：11/13（金））

ガイド：天橋立観光協会

その他：昼食会場は文珠浜公園

#### (3) ガラシャ・忠興コース

→講座でまわったまちなかメイン（徒歩）

旧三上家住宅→一色稻荷神社→大手川城壁→細川ガラシャ夫人像→カトリック宮津教会 など（集合は旧三上家旧宅）

日時：令和2年11月25日（水）9時30分～13時00分（応募〆切：11/18（水））

ガイド：宮津観光アテンダントまちなか案内人の会

その他：昼食会場は島崎公園東屋

### その他

- ・催行人数は先着15名。参加費は2,000円です。（お弁当、お茶、茶菓子付き）
- ・集合場所に直接集合していただき、現地解散となります。
- ・参加申込みは、大河ドラマ「麒麟がくる」宮津市推進協議会事務局までお問合せください。

事務局：宮津市商工観光課観光係 TEL：0772-45-1625

- ・本ツアーは10月に実施したガイド養成講座をもとにツアー造成を図るものです。なお、ツアー実施後には参加者へのアンケート調査を行います。

# 細川ゆかりの地モデルツアー

明智光秀の娘・細川ガラシャの愛した街である宮津・天橋立のゆかりの地としての魅力をご紹介するガイド付きのモデルツアーを開催します！

## ①忠興・光秀コース

雨天中止



### お寺＋山城跡メイン

盛林寺→八幡山（バスで移動します）

集合場所は細川ガラシャ夫人像前（バス発着場所）

昼食会場は八幡山

開催日 令和2年11月11日(水)9:30～13:00 (応募〆切11/4)

## ②ガラシャ・光秀コース

少雨決行



### 天橋立メイン

智恩寺境内→天橋立→天橋立神社 など

集合場所は智恩寺山門前

昼食会場は文珠浜公園

開催日 令和2年11月19日(木)9:30～13:00 (応募〆切11/13)

## ③ガラシャ・忠興コース

少雨決行



### まちなかメイン

旧三上家住宅→細川ガラシャ夫人像 など

集合場所は旧三上家住宅

昼食会場は島崎公園東屋

開催日 令和2年11月25日(水)9:30～13:00 (応募〆切11/18)

## 3コース共通

催行人数：先着15名

参加費：2,000円

その他：お弁当、お茶菓子付き

お申込みは下記にお問合せください↓↓

事務局：宮津市商工観光課観光係

TEL：0772-45-1625 E-Mail：k-machi@city.miyazu.kyoto.jp

～コロナ対策として～

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・一定の距離を保ちながら催行します。

主催：大河ドラマ「麒麟がくる」宮津市推進協議会

令和2年10月23日

新規

## 光のアトリエ～現実と空想のはざままで～を実施します

～ 天海の都「天橋立」はこの秋、光とアートに包まれます。～

本市では7月11日から光や映像、音によるアート・プロジェクト「もうひとつの京都ー光のアトリエー」を実施しています。10月16日から11月23日まで天橋立一帯でメディアアート作品が展示されるほか、雪舟生誕600年を記念し、国宝「天橋立図」の里帰り展示による丹後郷土資料館の開館時間の延長（ナイトミュージアム）、丹後海陸交通株式会社によるナイトクルーズなど様々な催しを実施します。

### 【オーディオビジュアルアート「data-verse<sup>1</sup>」】

日時：10月16日（金）～11月3日（火・祝） 18：30～22：00

※金・土・日・祝日のみ公開（11月2日（月）は臨時公開）

場所：天橋立公園内、料金：入場無料

### 【インスタレーションアート「Double Horizon<sup>ダブルホライゾン</sup>」】

日時：10月16日（金）～11月23日（月・祝） 18：00～21：00

※金・土・日・祝日のみ公開（11月2日（月）は臨時公開）

場所：元伊勢籠神社、料金：入場無料

### 【丹後国分寺五重塔 復活AR】

日時：10月31日（土）～11月23日（月・祝）

丹後郷土資料館 開館時間中（月曜を除く9：00～16：30）

※その他臨時休業日あり

（詳細は京都府立丹後郷土資料館HPをご確認ください）

※ナイトミュージアム開館日は20：00まで

（ナイトミュージアム開館日 10月31日、11月6・7・13・14・20～23日）

場所：丹後国分寺跡、料金：入場無料

内容：お持ちのスマートフォンで、丹後国分寺跡に配置のQRコードを読み込むだけで、雪舟も見上げたであろう五重塔が蘇ります。

### 【Blue Moon Cruise】

日時：10月31日（土） 20：00～20：40

出航：天橋立栈橋

料金：大人1,000円、子供500円

※ブルームーンクルーズ鑑賞船の詳細・ご予約は、天橋立観光協会HP

(<https://www.amanohashidate.jp/taiken/night-cruise/>) をご確認ください。

内容：2020年10月31日は特別な満月「Blue moon」。英語で「once in a blue moon」とは「稀なこと」を意味する言葉。スペシャルな光とアートが展開される中、満月と花火の「稀な瞬間」を特別な場所からご覧いただけます。

### 【花火打上げ】

日時：10月31日（土）20：30から約5分間（約75発）

場所：天橋立周辺

### 【丹後郷土資料館ナイトミュージアム】

日時：10月31日（土）、11月6日（金）・7日（土）・13日（金）・14日（土）・20日（金）～23日（月・祝）

開館時間を20：00まで延長 ※通常は9：00～16：30まで開館

場所：丹後郷土資料館、料金：入館料として250円（14日（土）は無料）

内容：雪舟生誕600年を記念し、国宝「天橋立図」が里帰り展示されます。これに併せて、前述の日程において、開館時間を20：00まで延長します。普段では味わえない夜の博物館での鑑賞をお楽しみください。

### 【成相寺紅葉ライトアップ】

日時：11月14日（土）・15日（日） 17：20～21：00

場所：成相寺、料金：入場無料

※車での入山はできません。傘松公園ケーブルカー及び登山バス（ともにライトアップ時間内のみ無料で運行）をご利用ください。

内容：「絶景のモミジ谷」をはじめ、約200本のモミジ、五重塔、本殿、山門、鐘楼をライトアップします。

### 【JIKU#009 TANGO\_KOKUBUNJI】

日時：11月20日（金）～23日（月・祝） 日没後～21：00

場所：丹後国分寺跡、料金：入場無料

**主催** 「海の京都」天橋立地区協議会、京都府

**問合せ先**

・イベントに関するお問い合わせ

天橋立観光協会 TEL：0772-22-8030

※ご案内時間 9：00～18：00

・雪舟 天橋立図展示に関するお問い合わせ

京都府立丹後郷土資料館 TEL：0772-27-0230

※ご案内時間 9：00～16：30

お問い合わせ先

産業経済部商工観光課観光係 TEL：0772-45-1625



# 光のアトリエ

～現実と空想のはざままで～

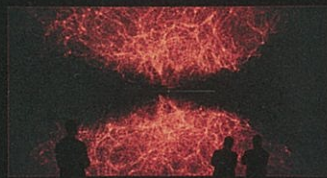
海の京都

2020.7.11～11.23 場所 / 天橋立周辺

※イベントにより開催期間が異なります。

てん かい  
天海の都「天橋立」はこの秋、光とアートに包まれます。

Artspace of the light



## 01 第一期 First Period

7/11-9/30

天橋立 砂浜ライトアップ

原摩利彦 / 長町志穂 〈Light and sound〉

場所 / 天橋立公園内

## 02 第二期 Second Period

10/16-11/3 オーディオビジュアルアート

※金・土・日・祝日と11/2のみ

池田亮司 〈data-verse1〉 場所 / 天橋立公園

10/16-11/23 インスタレーションアート

※金・土・日・祝日と11/2のみ

齋藤 達也 〈Double Horizon〉 場所 / 元伊勢籠神社

10/31～11/23 丹後国分寺五重塔 AR

VisibleInvisible + 大阪大学 場所 / 丹後国分寺跡

10/31 Blue Moon Cruise

特別な満月と花火 場所 / 天橋立棧橋より出航

## 03 第三期 Third Period

10/31 11/6・7・13・14・20-23

ナイトミュージアム

(雪舟「天橋立図」(国宝)展示)

史跡丹後国分寺跡ライトアップ

場所 / 丹後郷土資料館及び丹後国分寺跡

11/14-15 成相寺ライトアップ

LEM DESIGN STUDIO 場所 / 成相寺

11/20-23 光・映像のデジタルアート

ライゾマティクス アーキテクチャー 齋藤精一

〈JIKU#009 TANGO\_KOKUBUNJI〉

場所 / 丹後国分寺跡





## 天海の都

天橋立 府中・文珠

### 神仏と自然、人の文化のはざまにある 「純化」のエネルギー

天海の都「天橋立」は、百人一首を始めとする和歌や、雪舟に代表される絵画など、古くから文化の題材とされてきた。豊受大神と天照大神、伊勢神宮2大神の元宮、元伊勢籠神社。今も多くの著名人が訪れる奥宮 真名井神社。身代り観音の西国第二十八番札所 成相寺。「三人よれば文殊の知恵」の智恩寺。これら神仏と縁の深い当地が描かれた雪舟の「天橋立図」には、人知を超えた天上の世界と、人々を育む地上と海、その双方が凝縮されているように思える。かつて丹後国の中心地だった天橋立は、まさに「天海の都」である。

神仏や自然は、人の心を純化する。一説によると偵察が目的で丹後を訪れたといわれる雪舟も、当地に触れどこか心洗われる瞬間があったのではないか。天海の都 天橋立には、神仏および自然と、人の文化のはざまにある、純化のエネルギーが溢れている。



### インスタレーションアート

## [ Double Horizon ]

10月16日(金)～11月23日(月・祝) 18:00～21:00

金・土・日・祝日のみ公開 (11月2日(月)は臨時公開)

場所：元伊勢籠神社 入場無料

空のことを「天」(アマ)といい、その下に広がる海のことを「アマ」と呼ぶ。水平線のかなたに見えるその境界を望む天橋立の成り立ちにも由来する、二つの世界に挟まれた境界を表現します。海の水面あるいは、流れていく雲のようにも見える、プロジェクションと霧の装置によって立体的に表現された空間を身体的に体験してみてください。

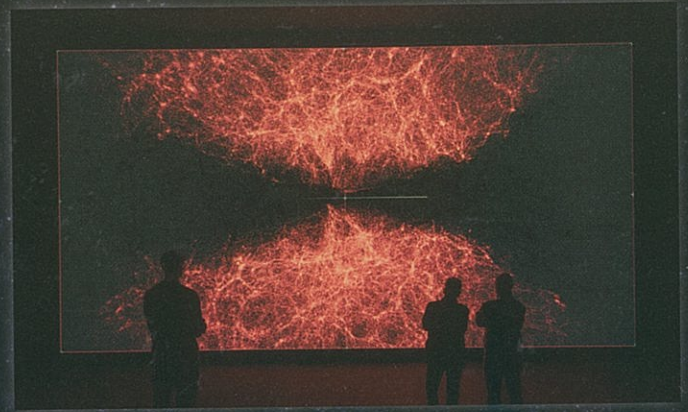
ARTIST PROFILE



Abacus インタラクティブアートディレクター / 作家

齋藤達也 Tatsuya SAITO

カリフォルニア大学芸術学科、東京芸術大学映像研究科修了。人間の知覚や認知についての洞察とメディアテクノロジーによるその拡張を研究の軸とし、多岐にわたる領域で活動。文化庁メディア芸術祭優秀賞、国際エミー賞ノミネート、イタリア賞グランプリ 他



### オーディオビジュアルアート

## [ data-verse 1 ]

10月16日(金)～11月3日(火・祝) 18:30～22:00

金・土・日・祝日のみ公開 (11月2日(月)は臨時公開)

場所：天橋立公園内 入場無料

鑑賞者を広大なデータの世界に引き込む作品《data-verse 1》は、マイクロから人間のレベルへ、さらにマクロへと向かう過程を3通りの方法で表現。鑑賞者は視覚と聴覚の両面で、広大なデータの世界へ、現代人の日常にあふれるデータの流れの中へと引き込まれます。

ARTIST PROFILE 池田亮司 Ryoji IKEDA 作曲家/アーティスト

1966年岐阜生まれ、パリおよび京都を拠点に活動。日本を代表する作曲家/アーティストとして、音そのものが持つ本質的な特性とその視覚化を、数学的精度と徹底した美学で追求している。2019年京都府文化賞功労賞受賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞(メディア芸術部門)受賞



### 雪舟も眺めた絶景・よみがえる

## 丹後国分寺五重塔 復活AR

10月31日(土)～11月23日(火・祝)

時間：丹後郷土資料館開館時間中

場所：丹後国分寺跡 入場無料

雪舟の絵画からインスピレーションを受け、国分寺跡地に限りなく往時の姿に近い五重塔が出現する。雪舟もながめたであろう丘の上から、光に包まれた国分寺と阿蘇海、天橋立の絶景を見渡し、鎌倉から室町時代に見えた風景ともに脈々と続く丹後・宮津の人々の営みを感じてほしい。

ARTIST PROFILE

VBIV

VisibleInvisible +  
大阪大学大学院・福田知弘研究室

「夜の闇の中での拡張現実の可能性を探る」アートユニット。北海道の森や都市の祝祭空間など、様々な夜の環境でのARとLightingのサプライズを企てる。2020年のプロジェクト：川湯の森ナイトミュージアム、御堂筋イルミネーション2020など

特別な満月と花火

## Blue Moon Cruise プルムーンクルーズ

10月31日(土) 20:00 ~ 20:40

場所：天橋立棧橋 料金：大人 1,000円 子供 500円

花火／20:30 から約5分間 場所：天橋立周辺

2020年10月31日は特別な満月「Blue moon」。秋の夜風に浸りながら月夜の天橋立をクルーズし、同時開催の打上げ花火を船上からお楽しみいただけます。英語で「once in a blue moon」とは「稀なこと」を意味する言葉。この月を見ると幸せになれるという言い伝えもあるとか。スペシャルな光とアートが展開される中、満月と花火の「稀な瞬間」を、思い出に刻んでくだされば幸いです。

プルムーンクルーズは、文珠会場・府中会場を結ぶ「シャトル船」と打上げ花火を鑑賞する「鑑賞船」があります。



雪舟 天橋立図になぞらえた朱の光

## 成相寺紅葉ライトアップ

11月14日(土)・15日(日) 17:20~21:00

場所：成相寺 入場無料

(車での入山禁止、ケーブルカー / 登山バスを時間内のみ無料で運行)

昨年から登場した「絶景のモミジ谷」をはじめ、約200本のモミジの演出と五重塔、本殿、山門、鐘楼のカラーライトアップで構成されます。本年は特に「雪舟の描いた天橋立図」からのインスピレーションによる「朱」のカラー演出と、水墨画影絵の演出が初登場。焰と紅葉と光、3つの「朱」のコラボレーションをお楽しみください。

ARTIST PROFILE



光と影の設計専門集団

LEM DESIGN STUDIO

国内各地の都市照明や地域に根差した公共主催のライトアートやデザインを数多く手掛ける。地域の魅力を際立たせる演出は、多くのファンと受賞歴を持つ。「水木しげるロードナイトミュージアム」「近江多賀・神あかり」「御堂筋イルミネーション」「INAKA イルミおおなん」等



いくつもの謎を持つ「究極の下絵」

## 雪舟 天橋立図展示

～雪舟生誕600年記念～ ○丹後郷土資料館でのナイトミュージアム

10月31日(土)・11月6～7日(金・土)・13～14日(金・土)

11月20日(金)～23日(月・祝) 開館時間／20:00まで延長

通常開館時間 9時～16時30分 休館：月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

場所：丹後郷土資料館(ふるさとミュージアム丹後)

入館料：250円(11月14日(土)は入場無料)

お問い合わせ／TEL 0772-27-0230

当時、肉眼では見ることの出来ないはずのアンクルで描かれた天橋立図は、一見写生のようで実はそうではない、多くの謎に包まれています。21枚の紙を貼り合わせた「下絵」であるにも関わらず国宝に指定され、500年以上に渡って語り継がれている本作。雪舟のどこか神がかった画力と創造性を感じてください。



光と映像のデジタルアート

## [JIKU#009 TANGO\_KOKUBUNJI]

11月20日(金)～23日(月・祝) 日没後～21:00

場所：丹後国分寺跡 入場無料

作品シリーズ「JIKU」は場所に隠された軸を探るプロジェクトで、光や音でその軸線表現するサイトスペシフィックな作品です。#009の舞台は、丹後国分寺。約40年ぶりに里帰りする雪舟の作品、国宝・「天橋立図」から読み取れる雪舟の頭の中の「視点」を軸として、光と音で表現します。

ARTIST PROFILE



ライゾマティクス・アーキテクチャーディレクター

齋藤精一 Seichi SAITO

1975年神奈川生まれ。コロンビア大学建築学科で学ぶ。ロジカルな思考を基に、アート・コマーシャル領域で立体・インタラクティブ作品を多数作り続ける。2015年ミラノエキスポ日本館シアターコンテンツディレクター。2018-19年グッドデザイン賞審査委員副委員長 他

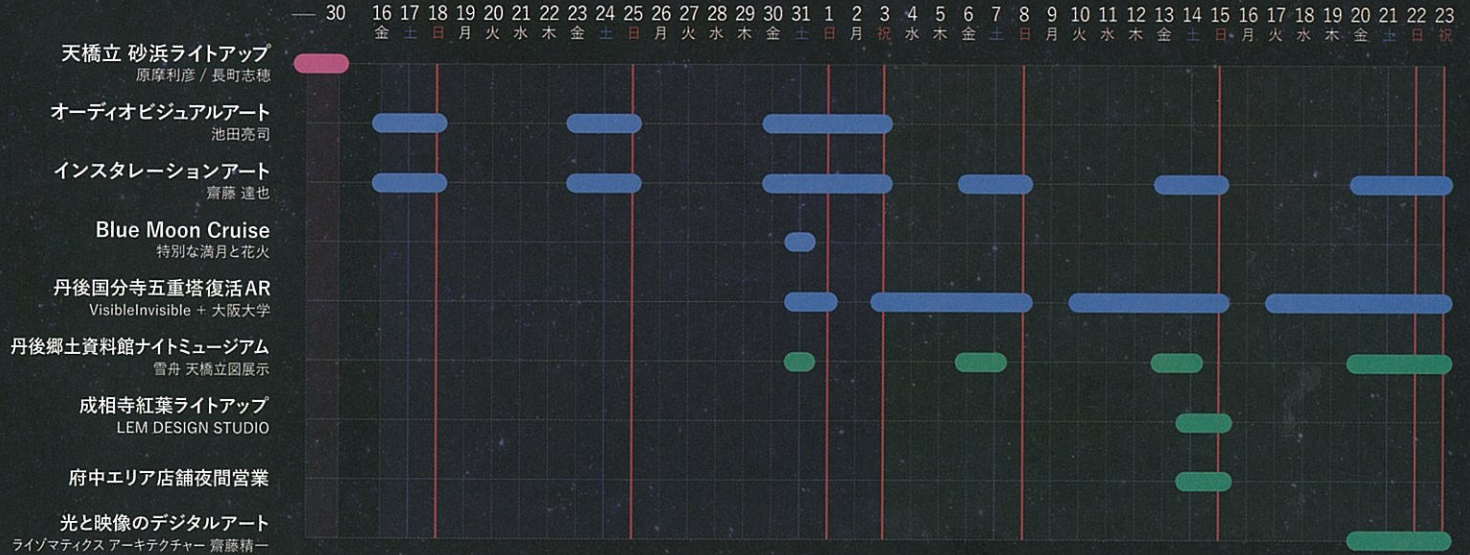
# EVENT MAP 天橋立 光のアトリエ イベントマップ



## EVENT SCHEDULE 天橋立 光のアトリエ スケジュール

9月 10月

11月



○ご来場の際はマスクの着用など、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。



## 光のアトリエ

～現実と空想のはざままで～

日本博府域展開アート・プロジェクト  
主催「海の京都」天橋立地区協議会、京都府  
<https://alternative-kyoto.jp/digital/>

○イベントに関するお問い合わせ

天橋立観光協会 TEL 0772-22-8030  
(ご案内時間: AM9:00 ~ PM6:00)

○雪舟 天橋立図展示に関するお問い合わせ

京都府立丹後郷土資料館 TEL 0772-27-0230  
(ご案内時間: AM9:00 ~ PM4:30)



海の京都

天橋立観光協会 (海の京都 DMO 天橋立地域本部)  
〒626-0001 京都府宮津市宇文珠 314 番地の2  
天橋立ターミナルセンター内  
TEL.0772-22-8030 / FAX.0772-22-8710



天橋立 光のアトリエ

<https://www.uminokyoto.jp/>



年度日本博を契機とする文化資源コンテニュー創成事業